

# AT-S10(AT-TSシリーズハブ用ファームウェアカセット) 使用方法



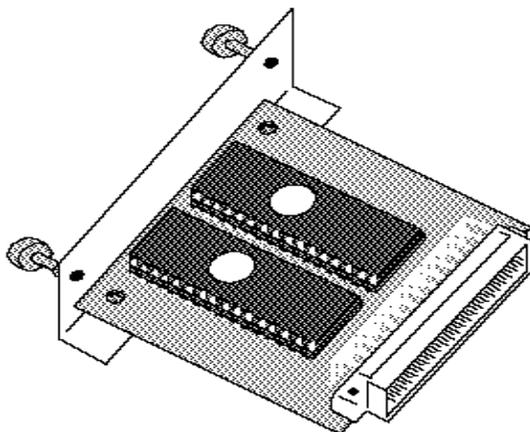
AT-TSシリーズハブ（以下TSシリーズハブ）はファームウェア（マネージメントソフトウェア）がカセットの形で供給され、その内容をTSシリーズハブのフラッシュROM（不揮発性メモリ）にロードすることにより、ソフトウェアが機能するようになっています。

TSシリーズハブは、出荷時にAT-S10の内容がロードされているため、TSシリーズハブにファームウェアカセットは実装されておりません。

バージョンアップはファームウェアカセットをセットし、電源を入れるだけで完了します。



同一ネットワーク上のTSシリーズハブのソフトウェアはすべて同じである必要があります。新たにTSシリーズハブを追加する際には、既に設置してあるTSシリーズハブのバージョンを合わせるようにしてください。



AT-S10はTSシリーズハブ用のファームウェアカセットです。CentreCOM3600シリーズ用のファームウェアカセットC36S4と外形は同じですが、それぞれ専用のソフトウェアとなっておりますので、使用時には間違えないようにご注意ください。

バージョンアップはファームウェアカセットをセットし、電源を入れるだけで完了します。

- (1) バージョンアップするTSシリーズハブの電源ケーブルがはずれていて、電源がOFFになっていることを確認します。
- (2) TSシリーズハブの本体背面のファームウェアカセット挿入部のカバープレートをはずします。
- (3) ファームウェアカセットをセットします。奥のコネクタが確実に接続されるよう、コネクタの位置を確かめながら十分奥まで押し込みます。
- (4) 2つのネジでしっかりとネジ止めます。
- (5) 電源ケーブルを接続します。
- (6) ハブ本体へのプログラムのダウンロードが始まり、フロントパネルのLEDが点滅します。
- (7) ダウンロードが終わると、FAULT LEDが一度点滅します。
- (8) ハブから電源ケーブルをはずします。
- (9) ファームウェアカセットをはずします。
- (10) もともとあったカバープレートを再び取り付けます。

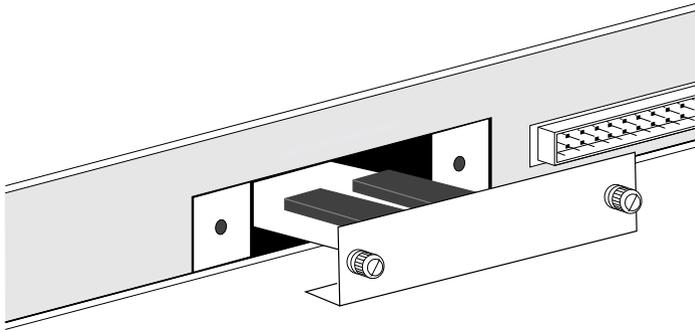
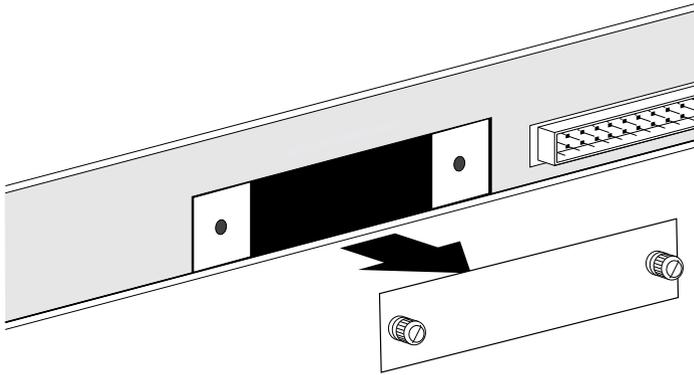
以上でバージョンアップ作業が完了します。



ファームウェアカセットを装着したままTSシリーズハブを運用することは可能ですが、この場合、他のTSシリーズハブからのダウンロードによるバージョンアップを受けることができず、また、パスワードでのログインプロテクトもかかりません。また、専用ラック内で使用する場合は、ファームウェアカセットをはずしてご使用ください。



専用ラック（AT-CTSRG7-1R2など）に収めたTSシリーズハブのバージョンアップの場合は、マスターモジュールに対して行ないます。ラック内のすべてのハブの電源をオフし、マスターモジュールを、ラックから取り出します。上記の操作でバージョンアップしたのち、これをラックのマスター位置に戻します。次にこのマスターから順次下に向かって電源をオンしてゆくことによって、ラック内のすべてのハブ（スイッチングハブは除く）のソフトウェアをバージョンアップすることができます。



## ネットワークを利用した他のTSシリーズハブのバージョンアップ

AT-S10でバージョンアップしたTSシリーズハブを利用して、ネットワークを介して他のTSシリーズハブをバージョンアップすることもできます。詳しくは、TSシリーズハブに添付のオペレーションマニュアルを参照してください。

(1)コンソールポート(RS-232)に端末を接続し、Omegaソフトウェアを起動します。

(2)メインメニューから「管理情報( Administration )」を選び、「他HubへのアップデートSOFTWAREの転送」、または、「すべてのHubへのアップデートSOFTWAREの転送」を選んで実行します。

(3)実行中は、「アクティブモニタ」モードになり、進行状況が表示されます。



TSシリーズハブのソフトウェア（Omegaソフトウェア）にはダウンロードパスワードの設定があります。「他HubへのアップデートSOFTWAREの転送」の場合は、ダウンロードパスワードが一致しなければ、バージョンアップは行われません。また、「すべてのHubへのアップデートSOFTWAREの転送」の場合は、ダウンロードパスワードが一致しているTSシリーズハブだけがバージョンアップされます。デフォルトのダウンロードパスワードは"ATS10"です。



「すべてのHubへのアップデートSOFTWAREの転送」でのソフトウェアアップグレードを行う場合、目的のTSシリーズハブとTFTPでの通信が行われるようにネットワークが設定されていることを確認してください。また、通信範囲に目的外のTSシリーズハブがないか十分確認してください。



# 使用および取り扱い上の注意

安全のために必ず守ってください。

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。



## カバーを外さないでください。

本製品の内部には高電圧の箇所が存在します。感電の恐れがありますので、マニュアルに記載がある場合を除いて、絶対にカバーを外さないでください。ユーザーに必要な部品は内包されていません。



## 稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



## 正しい電源を使ってください。

本製品は、製品の底面のラベルに明記された電圧範囲で動作します。ご使用前に必ずご確認ください。



## 正しい電源コードおよびコンセントを使ってください。

本製品に電源を供給する際には、本製品に添付されている専用の電源コードをご使用になり、電源コードのプラグ(接地端子付き3ピンプラグ)は、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントの使用により、接地が正しく取られていない場合、本製品の金属部分に触れたときに、感電する恐れがあります。

電源コードは無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、圧力がかかりコードがつぶれてしまうような箇所に電源コードを敷設しないでください。

テーブルタップをご使用になる場合、たこ足配線をしないでください。たこ足配線は、火災の原因になります。



## 通気口をふさがないでください。

本製品の通気口をふさがないでください。通気口をふさいだ状態で本製品を使用すると、加熱などにより故障、火災の恐れがあります。



## 取扱いは丁寧に

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。

## 動作温度

本製品は、指定された動作周囲温度の範囲でご使用下さい。動作可能な周囲温度範囲は、マニュアルに記載されています。特に、本製品をラックなどに組み込んでご使用になる場合、換気には十分ご注意ください。また、専用のラックが存在する製品については、必ず専用のものをご使用下さい。



## 異物を入れないでください。

換気口、拡張スロットなどから金属、液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。



## 設置、ケーブル配線、移動は電源を抜いて

本製品の設置、ケーブル配線、移動などを行う場合は、必ず電源ケーブルを抜いて行ってください。



## 次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因にもなります)
- ・腐食性ガスの発生する場所



## 日常のお手入れ

本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。